

当院における診療同行看護師の仕事の可視化と教育強化の実践報告

NO.

○森寿江¹⁾、佐藤香代子¹⁾、佐藤絵美¹⁾、板谷彩慈¹⁾
荒井亜海¹⁾、鬼沢愛子¹⁾、國居早苗¹⁾、遠矢純一郎¹⁾
1) 桜新町アーバンクリニック在宅医療部

はじめに

在宅医療を行う医療機関では、その診療体制は様々であるが、当院では訪問診療開始当初から看護師が同行している。診療同行看護師の仕事内容は多岐に渡るが、仕事内容の不明瞭さが新任看護師の教育や現場でのモチベーションに課題を生じさせていた。診療同行看護師の役割や多職種連携に関する文献はあっても、教育に関する文献はなく、院内マニュアルも作成していなかった。当院の看護師の教育体制はプリセプター制度を導入しているが、指導者の経験や力量に頼っていたため、指導者によって伝え方が異なり、新任看護師が混乱することもあった。そこで、診療同行看護師の仕事内容やスケジュールを明文化してまとめ、新任教育に活用できるツールを作成したので報告する。

当院の概要

所在地：東京都世田谷区

在宅医療：機能強化型在支診、在宅緩和ケア充実診療所

併設：機能強化型訪問看護ステーション、居宅支援事業所

患者数：約500人（うち施設100人）

従業員数(在宅医療部)：医師11人、看護師9人、薬剤師、相談員2人など

◎看護師は入職時点で卒後3年目以上、病棟経験のみや訪問看護経験があるなど経歴は様々。



活動内容

【業務明文化】

◎診療同行看護師の業務内容を、診療補助・患者家族支援・連携など、主要な項目に分けて明文化した。

【目標評価シート】

◎業務内容を明文化したものを目標の項目とし、目標評価シートを作成した。看護技術確認のための技術チェックリストも構築し、未経験の看護技術が明確になるようにした。

◎目標評価シートと技術チェックリストは入職時、独り立ちして1ヶ月後、3ヶ月後といったタイミングで定期的に記入し、未経験の看護技術は早めに経験できるよう配慮した。

【指導者が実施すること】

◎各項目について指導者側がどのように支援するか内容を明記し、指導の標準化を図った。新任看護師と各指導者とのグループチャットを作成し、実施した説明内容をチャット内で速やかに共有するようにした。

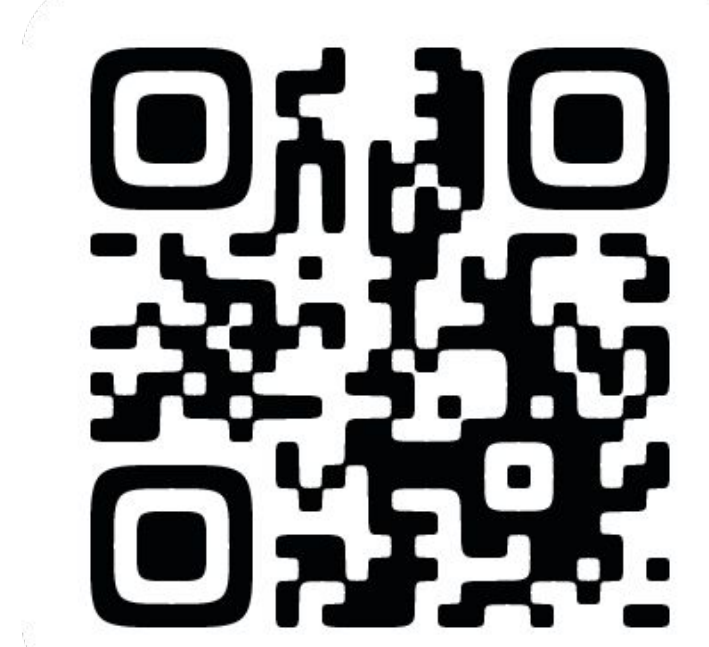
【計画】

◎新任看護師が1年間で当院での診療同行看護師の基本的な業務や看護を計画的に網羅できるように年間計画を作成した。

◎1日のスケジュールを作成し、曜日ごとに実施しているミーティングなども盛り込み、新任看護師が日々の流れを具体的にイメージできるようにした。

到達目標評価シート					
項目		未経験	見学済	見守り下	一人で
基本姿勢	就業時間を守ることができる				
	緊急のメールと申請を出すことができる				
	その場にふさわしい態度で挨拶ができ、職場の雰囲気を良好に保つよう行動できる				
	業務上必要な報告・連絡ができ、気になることなどを相談することができる				
	自身の当番を守ることができる				
連絡対応	事業所の理念、活動目標を知ることができる				
	自身の健康管理に努めるとともに、身体変化に適切に対処できる				
	在宅医療制度に基づく訪問診療について学ぶことができる				
	事務所にかかってくる電話の種類を理解できる				
倫理	緊急コールを取り適切に対応することができる				
	一人での判断が困難な場合や初めての経験時、困りごとをそのままにせず報告することの重要性を理解できる				
倫理	守秘義務及び個人情報保護の重要性を理解し、適切な情報管理を行うことができる				
	患者・家族を取り巻く倫理的問題がわかる				

目標に対する支援内容	
項目	支援内容（～3ヶ月）
就業時間を守ることができる	
緊急のメールと申請を出すことができる	①メールの記載方法と申請方法を説明する
その場にふさわしい態度で挨拶ができ、職場の雰囲気を良好に保つよう行動できる	
業務上必要な報告・連絡ができ、気になることなどを相談することができる	①報告・連絡・相談の必要性を説明する ②報告・連絡の担当者を知らせる ③報告・連絡の時間を作る
自身の当番を守ることができる	①ゴミ、申し送り、緩和ケアカンファレンス、食材の各当番を説明する ②当番日に忘れないよう、記載場所を説明する。
事業所の理念、活動目標を知ることができる	①Credoの説明（管理者から）
自身の健康管理に努めるとともに、身体変化に適切に対処できる	①健康状態悪化時、報告先を伝える。 ②必要時、相談できることを伝え、見守る
在宅医療制度に基づく訪問診療について学ぶことができる	①在宅医療制度を説明する ②患者を通じて制度の実際を解説する ③自己学習を促す ④受け持ち患者の保険利用状況、管理料、加算等について理解できているか確認する



桜新町アーバンクリニック

考察

今回、当院の診療同行看護師の業務内容をカテゴリー分けし、まとめることで新任看護師が視覚的に把握できるよう可視化できた。目標評価シートや技術チェックリストを定期的に記入することで、未経験項目が明確になり、早めに経験できるよう計画しやすくなった。また、新任看護師と各指導者で情報共有したことで、異なる指導者に同行することになっても指導が重複したり、説明内容が大きく変わることがなく、新任看護師の混乱軽減につながった。

各種ツールを用いることで新任看護師が課題と目標を設定する際の明確な指標となり、指導者が目標に合わせた指導がしやすくなった。

当院において必要なことは網羅できたものの、作成して使用し始めたばかりである。診療同行看護師の教育体制をさらに強化するために、ツールの内容の必要性や妥当性は今後も検討、修正する必要がある。

告知！
「診療同行看護師の集い
～仲間(家族)になろうよ～」
6月15日(日)9:40～10:40
当日参加OK
第9会場(出島メッセ1階・会議室108)

日本在宅医療連合学会
COI開示
筆頭発表者：森 寿江

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。